

9月議会はじまります

お誘いあわせて傍聴にお出かけください

9月定例会が9月6日からスタートします。議会の日程、日本共産党市議団の一般質問などについてお伝えします。

9月議会の日程

9月6日(火)～9日(金)

いずれも10時から 本会議

14日(水)10時から 総務委員会

15日(木)10時から 経済委員会

20日(火)～22日(木)

いずれも10時から 決算審査特別委員会

30日(金)10時から 本会議(最終日)

いずれの会議も傍聴できます。市役所5階にお越しください。

陳情の審査

羽村駅西口区画整理事業に関する陳情書

...15日の経済委員会で審査します。

市長提出議案

平成23年度一般会計補正予算(第2号)

平成22年度一般会計歳入歳出決算の認定について

羽村市入学資金融資条例
教育委員会委員の任命について

...など28の議案が提案されています。

日本共産党市議団の一般質問

倉田まなぶ議員



9月7日(水)午後3時ごろから質問予定

1、青年の雇用対策と就労支援について

(1)羽村市がハローワークと共同で取り組んでいる臨時の「職業相談窓口」の利用状況と、今後の展開について

(2)ひきこもりやニートなどについて、市の状況把握と、就業実態調査をおこなうことについて

(3)若者の就労支援対策の強化、市ホームページで「働く・雇用」の項目をつくり情報提供していくことについて

2、まちの安全対策について

(1)生涯学習センター「ゆとろぎ」の立体駐車場に、子どもなどへ、音・光で注意を促すセンサーシステム、標識盤の設置をすべきでは

3、教育と教職員の労働条件について

(1)外国籍の子どもの受け入れ体制について

(2)ネット犯罪から子供たちを守る対策について

(3)教職員の健康管理と労働条件の改善について

<倉田コメント> 当選して2回目の質問になります。この間、見えてきた市政のさまざまな課題や、声が寄せられたもののうち、緊急の対策が必要と思うものをとりあげました。質問にむけ、必死に準備している最中です。ぜひ傍聴にお出かけください。

鈴木たくや議員



9月8日(木)午前10時から質問予定

1、放射性物質の徹底調査、大震災被災地への復興支援を

(1)被災地への復興支援ボランティアを、羽村市市民活動センターなどが中心になって、市民と協力しておこなうべきでは

(2)放射性物質の結果わかったことは何か。さらにきめ細かい調査をおこなうべきではないか

(3)学校給食の食材は安全か。原産地と放射線測定について情報提供が必要ではないか

2、羽村駅西口区画整理事業は、市民の意見を聞いて見直しを

(1)第2次換地案に対し、住民から出された意見書にどう対応するのか

(2)向こう5年間、こういった事業をすすめる計画なのか

3、米軍横田基地はいったいどうなっているか

(1)横田基地への航空自衛隊の移転について、どこまで内容が明らかになってきたか

(2)横田基地への自衛隊の移転にともない、羽村市財政への影響はあるか

(3)大震災への米軍の支援にともなって発生し、横田基地に保管されている放射性廃棄物について<裏面へ>

(4) 横田基地の変化について、市民にわかりやすい情報提供を

<鈴木コメント>放射線調査、復興ボランティア、横田基地問題など、とりくんできた運動をもとに質問をおこないます。また、羽村駅西口区画整理事業は、連続してとりあげることとなります。頑張ります！

横田基地の撤去を求める西多摩の会 羽村コミセンで総会



8月27日、羽村コミュニティセンターで、「横田基地の撤去を求める西多摩の会」第4回総会がおこなわれ、

約80名が参加しました。

日本共産党基地対策委員会委員長・小泉親司氏が「米軍横田基地と航空自衛隊横田基地...日米軍事一体化の危険な本質」と題して記念講演をおこないました。

小泉氏は、航空自衛隊が横田基地内に移動してくることは、自衛隊がもっている情報を全て米軍が手中におさめる、日米合同の戦争司令部づくりを道を開く、横田基地の固定化につながる、ことを指摘。

沖縄県辺野古で米軍新基地建設を食い止めている運動が、たった16名の座り込み行動から始まったことを紹介し、「首都東京で『米軍基地の撤去』を掲げて、座り込み行動を続けている皆さんの運動は、沖縄をふくめて全国の基地撤去の運動を励ましている。ぜひ大きく広げて欲しい」と訴えました。

総会では、広く市民のあいだに横田基地撤去の機運をどう広げていくのか、などについて、活発な意見が交わされました。



「より良い福祉を、介護を」高齢者全都共同行動おこなわれる



8月30日、羽村市にたいして、医療・介護・年金・福祉・保育・教育などの改善をもとめる高齢者全都共同行動がおこなわれ、市民ら23名が

参加しました。市側は各担当課長などが対応しました。主催は、西多摩社会保障推進協議会、三多摩健康友の会多摩川支部。

質問項目に対し、事前に市側から回答がよせられ、それにもとづいて参加者から市民の実態などを示しての要望、質問が出されました。

「日の出町が実施している75歳以上の町民への医療費助成制度を、ぜひ羽村市でも実施して欲しい」「介護保険で必要なサービスが受けられるよう制限の撤廃を」など熱のこもった訴えが続きました。

参加者からは「具体的な質問、要望を市に対して示せたのが良かった」「毎年、交渉を積み重ねてきていることが、一步一步、市政をよくする力になっているのでは」などの感想が語られました。



8月25日 議会経済委と「羽村市農業委員会」との懇談会。農産物直売所をうまく活用し、新しい作物づくりにも挑戦している羽村の農家の頑張りがよく分かった。同時に、TPPで農家が潰されてしまう、などの厳しい将来展望についても率直な意見を聞いた。(鈴木)

8月30日 自治体要請行動に参加する。高齢者福祉から子育て、教育、障害者福祉、アスベスト問題など幅広く自治体に要求するために多くの方が集結。市民が力を合わせて声にかけて行動する事が大切だと強く感じた。(倉田)

今月の無料法律相談は9月14日(水)午後1時半からです。まだ余裕があります。電話でお申し込みください。

・鈴木 080-1058-9450 ・倉田 080-3460-0064まで。